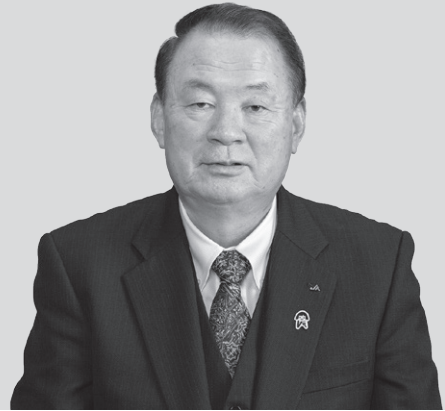


# ごあいさつ

## 身近で親しまれる JAを目指して



組合員の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、JA福山市に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年度の国内経済は、世界経済の回復から輸出が増加傾向をたどり、設備投資も堅調に推移するなど緩やかに改善しました。

一方、農業を取り巻く環境は、欧州連合(EU)との経済連携協定(EPA)の大筋合意やTPP11の合意署名など輸入自由化への動きは大きく進展し、さらなる国際競争力の強化が求められるなど厳しい情勢が続いています。

このような中、当JAでは第27回JA広島県大会での決議に基づき「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、自己改革に取り組むこととし地域農業振興を中心とした事業を展開しました。

営農指導では、引き続き「第二次JA福山市地域農業ビジョン」に基づき、「地域農業の担い手育成と支援」「農業者の所得増大と農業生産の拡大」「食の安全・安心確保」に取り組み、新規就農者研修・作物別の新規栽培講習会や農業塾を開催し、新たな担い手の育成に努めました。さらに「農業振興積立金」を活用したJA福山市農業振興支援事業の拡充を図り、集落営農組織や担い手農業者の経営支援を実施しました。

また、昨年4月には、農作業受託や農業経営を担う子会社「株式会社JAファームふくやま」を設立し、持続可能な地域農業を目指して始動しました。

信用・共済事業においては、「ふれあい訪問活動」や各種相談会などを通じ、組合員・利用者の皆さまの安全・安心な暮らしの支援に努めました。

これら諸事業を積極的に展開した結果、平成29年度は計画を大きく上回る成果を実現できました。

これもひとえに組合員の皆さまの絶大なるご協力の賜と深く感謝申し上げます。

中期3か年計画の総仕上げとなる平成30年度も引き続き「組合員・地域住民との関係強化」「地域農業の振興」「経営基盤の強化」の3つを基本方針として組合員及び地域の皆さまとの絆を深めてまいります。

今後とも、より信頼される「身近で親しまれるJA」を目指して、役職員一丸となって全力を尽くしてまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成30年7月

福山市農業協同組合

代表理事組合長 山上 一成